

ターボ機械協会 第68回セミナー  
 「ターボ機械基礎技術セミナー ポンプ編」

--- ポンプの障害事例と理論 ---

ポンプメーカーの技術者、発電所や化学プラントでポンプの運転管理を行っている技術者の方々に、ポンプ技術を学んでいただくセミナーを企画しました。火力発電所のボイラ給水ポンプや循環水ポンプに見られるポンプのトラブル事例（振動、腐食、キャビテーション）とその理論的解説をおこない、ターボ機械のキーポイントを理解していただきます。また、キャビテーションを実際に見学し、キャビテーション現象への理解を深めていただきます。奮ってご参加ください。

- ・協賛（予定） （社）日本機械学会、（社）火力原子力発電技術協会、（社）日本原子力学会、（社）化学工学会、（社）日本水道協会、（社）日本プラントメンテナンス協会
- ・日時：2005年11月10日（木）～11日（金）
- ・会場：荏原製作所 羽田工場
- ・参加費：会員 37,000 円、非会員 50,000 円、学生 10,000 円 （昼食代含む）

【プログラム】

日時	題目	内容	講師
11月10日(木)			
9:30～14:00	ポンプのトラブル事例 現場で経験した振動・騒音とその対策	ポンプと配管系で経験した振動・騒音の事例を発生要因別に説明し、その代表的な事例について、解析手順と対策を詳述する。	半田康雄 西島製作所
14:10～16:30	ポンプの基礎	ポンプの基礎と、様々なトラブルの原因となる異常流動やキャビテーションなどの理論的解説	松井 純 横浜国立大学 大学院助教授
11月11日(金)			
9:30～12:00	ポンプのキャビテーション損傷、その発生機構、事例、予測と対策について	ポンプの高速化、運転域の拡大等によりキャビテーション損傷発生の可能性が高くなっている。ターボ機械協会指針「ポンプのキャビテーション損傷の予測と評価」を基に、キャビテーション損傷の基礎から対策まで多くの具体例を挙げて説明する。	岡村共由 横浜国立大学 大学院講師
13:00～14:00	見学	ポンプモデルのキャビテーション見学	
14:10～16:30	海水ポンプの腐食問題と防食対策技術	海水は腐食性が強く、海水ポンプには中性水溶液中で見られる種々の腐食現象が典型的に現れます。これらの腐食事例を挙げ、解析手法を含めた対策技術を具体的に説明します。	宮坂松甫 荏原総合研究所

- ・定員：60名
- ・申込方法：E-mailまたはFAXで、「第68回セミナー申込」と明記の上、①参加者名、②連絡先住所、電話番号、③社名（学校名）、所属、④会員/非会員の別を明記の上お申込ください。
- ・参加費は事前に、現金書留または銀行振込にてお支払い下さい。



- 振込銀行：みずほ銀行 駒込支店  
普通預金 9 3 2 5 9 9 ターボ機械協会
- ・申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル  
ターボ機械協会事務局 セミナー受付係  
(TEL:03-3944-8002, FAX:03-3944-6826, E-mail:turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
- ・申込期限：定員になり次第締切ります。
- ・お申し込み後のキャンセルは出来ませんので、ご注意下さい。

写真：  
 ポンプモデルの  
 キャビテーション発生状態